



キャンプシート

火起こし

野外料理のための火、暖をとるための火、夜みんなで囲んで語り合うための火…。火は、キャンプでの生活を一層豊かにしてくれます。火起こしに悪戦苦闘するのもキャンプの醍醐味かもしれませんが、何があっても揺るがない自分なりの火を育てるテクニックを学びましょう。

基本編

●How to 火起こし

ステップ1 ～かまどの準備

常設のかまどがある場合は、高さ・幅を確認して調節しましょう。

常設のものがない場合は、石やブロックを使ってかまどを作りましょう。



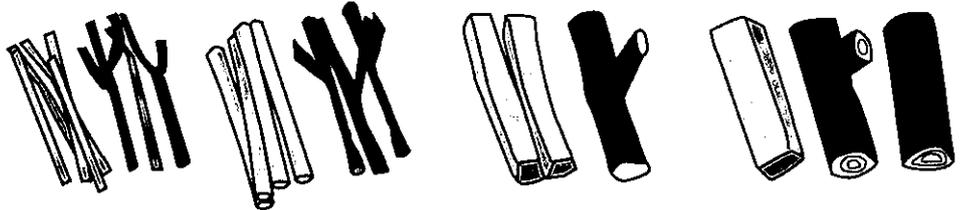
常設かまど
これは、二段式で高さが調節できるもの

手作りかまど
薪を組む場所をわずかに掘りさげ、まわり三方向を大きめの石もしくはブロックで囲う。そこに鉄板や飯ごうなどをかけられるように高さをそろえる。

直火ができない場合
左は、土の上で直火ができない場合。トタン板の上に盛り土をして、ブロックなどで作ります。右は、コンクリートの上で直火ができない場合。鉄板などを用いて火床を鉄板の上に作ります。

ステップ2 ～薪の準備

薪は、焚きつけにする細い薪とおき火にする太い薪を用意しましょう。ナタの使い方は、裏面を参照。



わりばし位の太さ

ゴボウ位の太さ

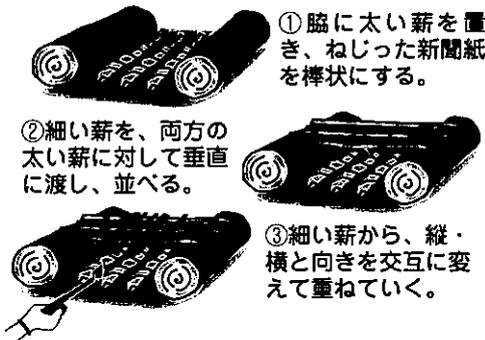
ニンジン位の太さ

ダイコン位の太さ

ステップ3 ～薪を組む

薪組みは、かまどの大きさや高さに合わせて、また、火の大きさも考えて行いましょう。

<井桁型>



②細い薪を、両方の太い薪に対して垂直に渡し、並べる。



③細い薪から、縦・横と向きを交互に変えて重ねていく。

<ティーピー型>



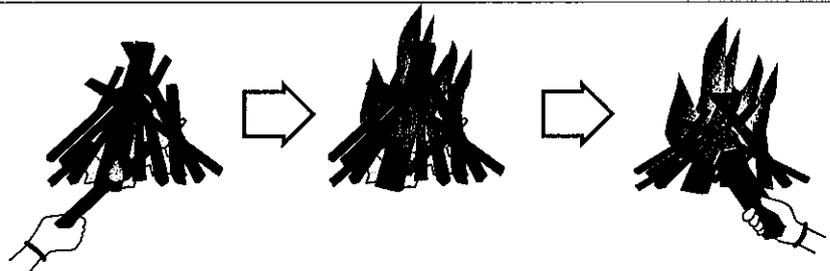
①新聞紙を軽くねじり、円錐形に置く。

②細い薪から新聞紙に立てかけていき、徐々に太い薪を重ねる。

ステップ3 ～火をつける

マッチはあるだけ使うのではなく、なるべく少ない本数で火をつけましょう。

Let's try!



新聞紙の端の方に火をつけ、細い木から火が燃え移るようにする。

火が大きくなり太い薪に移るまで、さわらず、あおがず、じっくり待つ。

外側の薪に火がついてきたらひと安心、徐々に太い薪を入れて火力を安定させる。

※火はどこでも焚いて良いものではありません。指定の場所で行いましょう。
※後片付けは、キャンプ場で指定された方法で行いましょう。
※直火はできるだけ避け、たき火台などを使用しましょう。



●薪割り

必要なもの

薪、ナタ(両刃)、枕木、軍手

ナタの種類

ナタには、刃の断面部が逆レの字型の片刃と、Vの字型の両刃があり、薪をたてに割るときは両刃を使いましょう。片刃は小枝を落としたり細い木を切る道具なので、薪割りですと、斜めに割れることがあり注意が必要です。

枕木とは？

薪割り台のこと(丸太を輪切りにしたものなど)。ナタにかかる力を薪に伝える役目と、割り切った時にナタの刃先が地面に当たり、ナタの刃が欠けるのを防ぎます。

軍手はどっちの手？

ナタを持つ手に軍手をはめると、すべりやすくなり危険。薪を持つ方にだけ軍手をしましょう。使わないほうの軍手も重ねてつけると、ケガを防げることと、軍手をなくすのを防ぐことで、一石二鳥！

<薪の割りかた>

平らで見通しのいいところでまわりに人がいないことを確認してから行います。

片むざをついて安定した姿勢をとり、薪をしっかり持って、ナタの刃につけたまま、トントンといっしょにたたく。



刃が斜めに薪にくいこんだら、垂直に直し、薪から手を離してたく。



薪が刃から離れないように注意しながら、ナタの重さを利用して上下にゆっくりたく。



力を入れすぎると、割り切るときに薪が飛んでいき危険。気をつけよう。



応用編

●火起こしの豆知識

軍手いろいろ

やけどやケガを防ぐためにキャンプでは軍手を使います。「軍手」といっても素材や編み方で様々な種類があるのでご存じですか。量販店などで販売されている軍手は主に次のような素材でできています。

- 1 純綿製
 - …熱の伝わりが遅く、急に燃えたり融けだすことはないのですが化繊を含むものよりは危険性は少ないといえますが高温に熱せられたものに触れた場合には、混紡と同様の危険性があります。
- 2 化繊製(アクリル、ナイロン、ポリエステル)
- 3 綿と化繊の混紡
 - …熱を通しやすく、熱湯がかかった場合、短時間で中までしみ込んでしまいます。強い炎で熱せられた飯ごう、鍋のどって部分やフライパン等に触れた場合、すぐに軍手が融けだし、皮膚に付着して火傷になる危険性が大きく、化繊の入った軍手で火を使う時には細心の注意が必要です。
- 4 繊維の上にゴムを塗装(手のひら全面、ポツポツの凸凹仕上げ)
 - …繊維の上にゴムがひいてあるため、繊維だけの軍手よりは丈夫で燃えにくいのですが、**30秒以上火にあてていると表面のゴムが溶け出して激しく燃え出します。**これは非常に危険な状態であり、火傷になる危険性も大きく、ゴム引きの手袋は火を使うときには適していません。
- 5 革製(厚手、薄手)
 - …熱湯がかかったときはまず火傷にはなりません。高温のものを触った場合でも熱が手袋の内部に伝わる時間が、繊維製の軍手よりかなり長く、もっとも危険性が少ない手袋といえます。**火を扱うときにはこの種の手袋が最も安全といえます。**溶接用の高級品もありますが、一般的な厚手の革手袋が百円ショップ等でも売っていますので、キャンプで火を使うときの手袋としておすすめです。

この薪何の木？

薪には大きく分けて硬い木と軟らかい木があります。

火付きのよいもの、火持ちのよいもの、それぞれの特徴があり、用途によって使い分けるようにしましょう。

	硬	軟	火付き	火持ち	火力	煙	備考
まつ		○	優	短	強	多	よく燃える。特に乾いた根はよく燃える。火花を出す
すぎ		○	優	短	強	多	よく燃える。皮は生でもよく燃える。
しらかば		○	優	短	強	中	燃えにくい。皮は生でもよく燃える。
くり	○		難	長	やや強	少	火がはねる。生は全然燃えない。
くぬぎ	○		難	長	強	少	よく燃える。火持ちがよい。
なら	○		難	長	強	少	よく燃える。火持ちがよい。



アクティビティシート No.4 writer: 荒木恵理 illustrator: ほしのゆきこ director: 高瀬宏樹

発行 社団法人日本キャンプ協会キャンプインフォメーションセンター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL 03-3469-0233 http://www.camping.or.jp E-mail info@camping.or.jp

発行者の許可なく、この印刷物を複製することを禁じます。

NCAJ
National Camping Association of Japan

©National Camping Association of Japan